

かわさき 第95号 議会だより



残暑御見舞申上げます
川崎町議会一同

わっしょい!!
わっしょい!!

写真提供 大塚富和さん

6月 定例会

町民に信頼される議会をめざして

—第2回議会報告会と今後の取り組み—

新しい2つの条例を制定

健康づくり推進条例 町バス条例

一般質問 よりよいまちづくりをめざして

5人の議員が一般質問

2

2

5

議会だより 第95号

発行 川崎町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒857-8501 福岡県田川郡川崎町大字田原789-2

傍聴席



今月は、豊前川崎商工会議所林竹市会頭に議会報告会について、お話を伺いました。

—川崎町議会では、昨年より議会報告会を開催し、今年は5月下旬に行いました。今年の議会報告会で感じたことや要望などあればお聞かせください。

【林会頭】川崎町議会が初めての企画として、町民と直接膝をまじえて、議会報告と町民の生の声を聞く機会をつくっていただいたことは、町議会の長い歴史の中でも画期的なことだと思います。

全町を4つに分けて、直接議会が住民から話を聞いて、まちづくりなど町民と連携して進めていく方法は、町民も大きな関心を持っていると言っても過言でないと思います。100年に1度と言われるこの不況下において、本町の小規模事業者は、個々の努力ではどうすることも出来ない状況にあります。町民の声を聞き、高い見地から諸々の英知を集め、行動する議会に町民及び企業は大きな期待をしています。私たち商工会議所も出来る限り議会と連携し、中小企業の支援体制を作っていくしたいと思います。

—議会だよりは、読みやすく分かりやすい紙面になっていますか。また議長経験もある林会頭は、議会傍聴をされることはございますか。

【林会頭】議会閉会後に発行される議会だよりについては、商工会議所職員全てに回収して見えています。少ない編集委員で記事の収集から紙面構成など大変な作業だと思います。議会だより編集委員の皆様も原稿書に苦慮していると思いますが、紙面の構成に創意工夫していただいて、本当に読みやすい「議会だより」を楽しみにしています。

議会傍聴は、町民の責務と考え、私も出来るだけ議会の傍聴を心がけていますが、質問者、答弁者も傍聴者が多ければほど慎重、真剣になるように思います。また、よく勉強している姿勢も伺えます。

貴重な時間をありがとうございました。
今後とも川崎町議会にご協力の程よろしくお願ひします。

編集後記

人は生まれ成長し、やがて老い減んで行く。医療、保険が発展した今日、臓器移植を巡る議論が白熱しているが、法律、条例をもってしても救えない命がある。だからこそ人は、無病息災、疾病退散の祈りを込めて、先祖から伝わる靈験あらたかな山笠を昼夜ケンコウ、縦横かつ荒々しく繰り返すのだ。
残暑厳しい折、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。
議会だより編集委員一同

傍聴席・議会日誌

田川のために全力で頑張ります!!

田川郡町村議会議長会会長就任祝賀会

6月1日、川崎町議会の森元秀美議長が田川郡町村議会議長会の会長に就任されたことを受けて、手嶋町長、奥副議長、林商工会議所会頭、藤川農業委員会会長、松岡行政区長会会長が発起人となり、7月15日に田川市内で就任祝賀会が開催されました。

当日は、約200名の方がお祝いにつけ、盛大な祝賀会となりました。

会長に就任された森元議長は、「このような会長の職に就けましたのも応援してくださる皆様のおかげです。これから大切な田川のため、全力で頑張っていきたいと思っています。」と力強い謝辞を述べられました。



▲森元秀美議長会長就任と挨拶



▶就任祝賀会

議会日誌

6月		5月		4月	
17日	12日	27日	15日	22日	16日
18日	11日	16日	14日	19日	13日
19日	10日	15日	13日	20日	14日
20日	9日	14日	12日	21日	15日
21日	8日	13日	11日	22日	16日
22日	7日	12日	10日	23日	17日
23日	6日	11日	9日	24日	18日
24日	5日	10日	8日	25日	19日
25日	4日	9日	7日	26日	20日
26日	3日	8日	6日	27日	21日
27日	2日	7日	5日	28日	22日
28日	1日	6日	4日	29日	23日
29日	31日	5日	3日	30日	24日
30日	30日	4日	2日	31日	25日
31日	29日	3日	1日		26日
	28日	2日			27日
	27日	1日			28日
	26日				29日
	25日				30日
	24日				31日
	23日				
	22日				
	21日				
	20日				
	19日				
	18日				
	17日				
	16日				
	15日				
	14日				
	13日				
	12日				
	11日				
	10日				
	9日				
	8日				
	7日				
	6日				
	5日				
	4日				
	3日				
	2日				
	1日				

議会改革特別委員会

第2回議会報告会を開催

去る5月下旬、前年に引き続き町内4会場において、第2回議会報告会を開催しました。

今回は前回の反省をふまえ、11月下旬という冬場を避け、新年度方針や当初予算が審議される3月議会後の5月に時期設定しました。また、今回は予算・決算など行政の内容よりも議会活動に重点を置き、議会・議員の本来の使命である「町民の声をいかに町政に反映するか」を念頭に、川崎町議会の活動状況とわけわけ議会改革の取り組みについて報告し、理解を求めました。

前回の意見・要望などに対する回答は配布資料として取りまとめ報告したところです。

今回の会場別参加状況は別記のとおりであり、全体で158名、前年比16.8%と増加はしたものの、まだ満足できる参加状況ではなく、今後の周知・宣伝のあり方など反省点があります。

参加者は十分ではありませんでしたが、参加した方々は、様に関心が高く、熱心に議論に参加していただきました。中には議会報告会の開催など、議会改革の取り組みについて高く評価していただき、「町民がもっと町政、議会に関心をもつて参加すべきである。」との心強い発言もありました。次回以降の参加数増大に大いに期待しています。

今回も多くの意見・要望などがあり、可能な限り会場で回答いたしました。なお、検討を要するものについては、全員協議会や常任委員会

で審議し、また執行部など関係機関とも検討し、別途回答することとします。

(別記)
平成21年度 議会報告会参加者数

大字	月日	参加者数
川崎	5月26日	38
田原	5月28日	55
安真木	5月29日	34
池尻	5月30日	31
計	-	158

議会改革今後の取組み

- ◎ 9月議会からインターネットによる議会放映システムを導入して生中継、録画中継を実施し、併せて議会独自のホームページも作成して発信します。
- ◎ 9月までは、町民の定人数を抽出して、議会に対する住民アンケートを実施し、町民の声を把握します。
- ◎ 9月から議長交際費の内容についてインターネットで公開します。
- ◎ 町内の公共性を有する団体を対象に「議会住民団体懇談会」の場を設定し、町政や議会に対する意見・提言を拝聴します。(9月議会後)
- ◎ 議会改革特別委員会では、現在「議会基本条例」の草案作成に着手しており、これら議会改革の取り組みをも網羅した議会の憲法ともいえるべき「川崎町議会基本条例」策定に向けて鋭意取り組んでいます。

全会一致可決

町民健康づくり推進条例

健康が家計・財政を救う

〈条例提案の趣旨〉

- 町民の健康づくりを推進するための基本理念を明らかにする。
- 健康づくり推進に向けて町・町民・地域団体、事業者の役割を明らかにする。
- 健康づくり推進協議会を設置する。

議会の意見

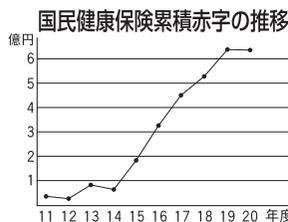
条例制定に先行し、5月1日付けで健康づくり推進協議会設置要綱を定め、同日31日に大会実施。そこで健康づくり宣言が行われています。

この条例の特徴は、国の法律に基づき実施されている保健事業の補足的な意味合いが強いこと、住民の健康増進への努力義務が盛り込まれている点にあります。本件は、本会議で提案後、民生文教常任委員会に付託され審議されました。

審議の過程で老人保健福祉計画などにも質疑が及び、配食サービス事業の成果やいわゆるメタボ検診の受診率低迷の実態が明らかになりました。

町バス条例も全会一致

西鉄バス路線廃止に伴い、代替の町バスを試験運行して来ましたが、今後も町民の足として運行継続するため条例化しました。



過疎地域自立促進計画を変更

①安宅の滝周辺整備計画

観光及びレクリエーションの場として、安宅の滝周辺の整備をします。



②インターネット高速通信整備計画

交通通信体系の整備として情報化及び地域間交流のため木城・黒木・荒平・安宅周辺にインターネット通信の整備をします。

平成21年度一般会計補正予算

補正額は1億515万円の増額となりました

主な補正内容は

川崎町コミュニティバスの運営経費	1,161万円
福祉施設及び介護・福祉空間整備費補助金	3,183万円
安宅の滝周辺整備及びびんご園オーナー負担金	3,080万円
緊急雇用対策事業費及び町内サイン表示等看板作成費	1,478万円



川崎町ふれあいバス

よりよいまちづくり をめざして

ぜひ傍聴に
お越しください!!

おしよバイ

一般
質問

が74,000名になった。川崎町でも昭和58年「非核平和町宣言」に関する決議をしている。そこで非核3原則の「核をつくらず、持たず、持ち込ませず」の平和事業が必要と思う。看板を設置することや、広報にチラシを折り込むこと、講演・スライドなどを実施し、核の恐ろしさ、悲惨さ、平和の大切さを知ってもらうことが大切だと思うがどうか。

非核平和宣言に関する決議について



中村 内広 議員

【問】1996年国連総会で包括的核実験禁止条約(CTDT)が採択され、世界の核兵器廃絶に向け、流れが高まりつつある中で、北朝鮮は5月25日、2回目の核実験を行ったようであるが、これらの行為は世界平和に逆行するものと思う。日本は唯一の被爆国であり、昭和20年8月3日、午前8時15分、人類史上初の原子爆弾が広島に投下され、8月9日、午前11時2分、長崎市松山町の上空で原子爆弾が炸裂した。昭和20年12月までの死亡者

【答】手嶋町長 今年、オバマ大統領が誕生し、その就任演説の中で核軍縮に向けた取り組みが世界から注目を集めた。そのことによって、今世界の中で核軍縮に向けた意識が、かなり高まっていると思う。その中で北朝鮮で核実験が強行されるといふ事態もあり、北朝鮮を中心としてアジアの関係についても緊張感が高まっているという現実もある。今、指摘のように川崎町では、非核自治体宣言が議決されており、私は平成20年から非核自治体協議会に加入をした。今年5月19日に長崎で非核自治体協議会の総会に参加をし、今世界における核兵器の実態、それに向けて軍縮の取り組みなどの報告があった。平成21年度予算の中で、核廃絶を呼びかける看板の設置を考えている。青少年健全育成のための「少年の船」については、昨年実施していないので、来年3月の春休み、小笠原地区を考えて準備を進めている。また今、指摘の沖繩に対する平和研修も重要だと思う。

請願

住民の願い

請願	請願者	内容	採決結果
行政区への加入及び行政区活動への参加の推進に関する請願	川崎町行政区長会一同 代表 松岡 征生 紹介議員 伊藤 英明 大谷 春清	地域の親睦、環境維持、防犯、青少年の健全育成などを目的とした組織である行政区があります。近年の生活様式の変化によって行政区に未加入世帯の割合が増加しています。行政区に加入していない世帯に、加入するようなシステムづくりを推進していただくようお願いします。	採 択

◆新たな過疎対策法の制定に関する 意見書を採択

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」が制定されて以来、3次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果をあげています。しかしながら人口減少と高齢化は特に過疎地域において顕著であり、路線バスなどの公共交通機関の廃止、医師及び看護師などの不足、耕作放棄地の増加、森林の荒廃など、生活基盤の弱体化が進む中で、きわめて深刻な状況に直面しています。そこに住み続ける住民にとって、安心・安全に暮らせる地域にするために、引き続き総合的な過疎対策を充実強化させることが必要です。新たな過疎対策法の制定を望みます。

◆議員報酬の特例に関する条例を 廃止する条例を否決

議員定数の削減を行なって議員報酬額を引き上げなければ若くて優秀な民間人、就業前の子どもがいる女性層、壮年層などの幅広い町議会議員選出はむずかしい。その中で今回は、5パーセント削減された議員報酬額を元の額に戻そうとする条例改正案です。討論、採決の結果、賛成少数で否決されました。

議
員
発
議

否決
現状どおり5%
カットが続きます

議員手当をカット (臨時議会)

人事院(公務員の給与を決める機関)から公務員の夏の手当(ボーナス)をカットする勧告があり、議員は法的な対象ではないのですが、町職員と足並みをそろえて期末手当のカットをするかの議論がなされ、「本町では他の町村に先駆けて、議員は報酬5%カットの状態をずいぶん長く続けて財政健全化に貢献しているのに」、「若者は生活できずに立候補の機会を失う」などの意見がありました。社会情勢や県内最悪な財政事情の町ではやむを得ない方向で、多数決により小差で議員期末手当カットを議決しました。

未来の子供達のためにも
滞納はやめよう

滞納
ストップ

●町営住宅家賃滞納金請求及び住宅明渡
訴訟の報告

事件名 建物明渡等請求事件
原告 川崎町
被告住所 東田原団地 1件
東洋団地 2件

よりよいまちづくりをめざして

【問】 本格的な高齢化社会を迎える中、各地域において、多くの高齢者の方々が自ら介護支援などのボランティア活動に参加することで、心身の健康保持や増進につながり、介護予防に資するものと考えられている。国はこうしたボランティア活動に対しての支援を検討した結果、介護保険制度における地域支援事業を活用し、高齢者のボランティア活動の支援と、介護予防に資する取り組みの支援を図っている。元気な高齢者の方を介護高齢者の方を支援して

介護支援ボランティアについて



瓜野 かをり 議員

い、地域社会に貢献し、要介護高齢者と元気な高齢者が交流することで、同世代での助け合い社会が形成されるものと考えられている。ボランティア活動実績をポイントとして評価し、介護保険や介護サービス利用料にあてる制度である。またポイントは地域の工夫次第でさまざまな取り組みも考えられ、元気な高齢者が地域に貢献できる仕組みである。介護ボランティアとして年間36回

以上、1回2時間程度、または3ヶ月以上継続して週1回2時間12回程度参加する。内容はレクリエーションの指導や参加支援、散歩や外出、話し相手など社会福祉協議会から介護支援ボランティア証明を交付してもらい、毎年5月頃に介護保険料控除申請書とともに提出すれば年間5千円を減額できると聞いている。本町の考えを尋ねる。

【答】 手嶋町長 介護ボランティアについては、社会参加、地域貢献を行うとともに、高齢者自身の健康増進を図っていくことが可能であり、21年度は高齢者見守りネットワーク事業で、社会福祉士1名を雇用するなど、対策を検討する。

日本版グリーンニューデールについて

【問】 国は、緑の経済と改革について平成21年4月20日、基本的な考えを示した。学校と公的施設を日本全国エゴ改造として、地球温暖化対策、太陽光発電などの施設の整備について、生徒一人ひとりにおよびその保護者、地域住民の行動がエゴに配慮した行動を求めている。町長の考えを尋ねる。

【答】 手嶋町長 グリーンニューデールについては、学校エゴ事業は大変重要であり、計画の過程から地域住民、学校関係者、町で環境教育を検討する。は100分の60以上、1000分の85以内を引き上げて、せめて100分の90以内に条例を改正してほしい。なぜなら、本町は国の直轄工事がなし、県の工事も少ない。仕事の少ない中、本町の工事を頼りにしている業者にとつて最低限度価格の引き上げは経済的効果も考慮しても必要であるので、このことについてお尋ねする。

【答】 森元防災対策課長 町長もこの件について業者に負担がかからないように単価の見直しなど、働きかけをしてきた。その中で国から、現在景況状況が悪い中なので、最低制限価格を100分の90に引き上げるように、現在準備を進めているところである。

【問】 物品、役務費の購入においても国及び地方公共団体は、その発注の際に概要などを示して、それを広告し一定の条件を満たす複数の業者に自由に入札させるとある。相反する経済政策の中でこの際、入札制度の改革を真剣に考える必要に迫られていると私は思うので、今日はこの事について問題提起をさせていただく。

【答】 手嶋町長 本町には、随意契約の施行基準があり、見積を徴集して最低の業者と契約を行っている。

環境授業の推進



谷口 武雄 議員

【問】 川崎町のほとんどの道路沿いには歩行者、また車からの投げ捨てられたゴミが散乱している。この事を解決するためには、幼児童からの環境に対する道徳が必要と思う。今後、小学校において年に数回、県より委託された環境推進員による環境授業をしてもらってはどうか。

【答】 手嶋町長 川崎町の道路沿いにゴミが散乱している状況は目につくし、よく耳にもする。川崎町にとって非常に悪いイメージを与えたとする事は、指摘のとおりだと思っている。まさに環境教育、道路教育とも関連する事で幼児童から、きちんと指導していく事が肝要と思っている。よって環境推進員などを利用して校内での研修会を校長と相談しながら推進させて頂きたい、と思っている。

【問】 6月1日より八木山ハイパス通行料がETCカード利用者のみ値下りしたが、執行部として川崎町を取り巻く国道、県道の整備計画をどの程度把握され、どのような活動がされているか。

【答】 手嶋町長 国道201、322については筑豊横断道路建設促進期成会と言う組織を設け、建設省関係の機関に働きかけなどとして建設促進に取組んでいる。また、田川地区では国道整備促進期成会を別に設けて独自に陳情などを行っている。

国道・県道整備計画に積極的働きかけを



櫻井 英夫 議員

【問】 国道、県道への国費、県費での案内標識整備を積極的に要望すべきでは。

【答】 手嶋町長 国、県が独自にやってくれるのが望ましい。むしろかじりと思うが、あくまでも要望していきたい。

【問】 池尻地区を中心に町内に行き止まり道路が存在しているが、そんな状態では道路機能は十分に発揮されない。未完成な箇所は何ヶ所あり、その

7月7日をクールアースデーとしては？

【問】 今、全国各地の市町村では、一時的に電気を消してCO2を削減する日程を設けている。川崎町も環境保全の環として、クールアースデーの取り組みをしてはいかがでしょうか。

【答】 手嶋町長 クールアースデーについては、地域住民の皆さんのご理解と協力なくしては実現できるものではない。今後さらに省エネ、また環境保全について前向きに取り組みを進めていきたいと思う。

地球温暖化をテーマに撮影された映画を上映しては？

【問】 子ども達の地球温暖化に対する認識を深めるために小中学校において、地球温暖化をテーマにした映画を上映してはどうか。

【答】 讃井教育長 ご指摘のとおり、今の子ども達は聞くだけでなく、視覚を通して、さまざまな事を学んでいこう、生活習慣がついているので、非常に有効な手段と思っている。校長会などを通じて今後、機会があれば推進をしたいと思います。



理由を把握しているか。今後どのように対応されるか。

【答】 手嶋町長 町道391号線、19号線が行き止まり道路になっている。今の町財政からして、それらを延伸整備させる状況にはないと考えている。

行政区活性化にもっと町の指導力を

【問】 選挙公約に掲げた「行政区によるふるさと自慢の確立とは何か」の3月議会の副町長の答弁に納得できていない。町が行政区に対し主体的な具体的な誘導、働きかけがあつてその公約だと思ふ。健康づくりでも、防犯運動でもテーマはいくらでもある。町のリーダーシップに期待しているのだがどうか。

【答】 手嶋町長 行政区に補助金を出して云々も考えたが財政状況が許さず、それができない。お金の支援ができないなら心の支援を、と言う観点で移動町長室で行政区を回り、金がかげずにやれる方法を区に考えてもらえるよう働きかけた。

新学習指導要領で教育の何が変わる？

【問】 23年度から新しい学習指導要領になるが、どんな点が期待されるか。

【答】 讃井教育長 「ゆとり教育」から「生きる力を育む教育」に転換させて授業時間を増やしている。「読み書き算盤、外遊び」がキーワードだと考えている。

よりよいまちづくりをめざして

本町発注の入札制度について



西本 泰博 議員

【答】 手嶋町長 一般競争入札の方向で行くべきとの認識を私自身は持っている。しかし、町内業者の育成の観点からしてどうかという疑問もある。そこで、もう少し研究検討させていただきたい。

【問】 公平権を持つには制限付き一般競争入札がよいと考えるので問題提起しておくが、あわせて本町財務規則第109条の中の最低制限価格

総務常任委員会

- 委員長 岩口 義博
- 副委員長 北代 俊雄
- 西本 泰博
- 伊藤 英明
- 谷口 武雄
- 中村 内広

●議会報告会における住民要望事項などに係る調査

●町営住宅の入居受付はしてないのに同和住宅は団体等の推薦で入居しているのは不合理。町の説明では、集合団地(25戸以上のもの)は、全町民を対象に公募公開抽選で選出します。地区団地(25戸未満のもの)は、当該同和地区居住者を優先的に入居させます。この場合、申込者が入居させるべき戸数を超える場合は、公開抽選で選出します。また、申込者が入居戸数に満たない場合は、地区以外及び、同和地区出身者以外の入居資格者の中から公開抽選で選出します。



川崎中学校

●学校周辺に街灯を設置してほしい。特に冬の時期。総務委員会では、現地調査を実施した結果、川崎中学校通学路の2ヶ所に街灯が必要との認識で、町に街灯設置について要請していく事

●区管理の町有地を届け出ていないのは、安真木地区だけだと思いが、調査してほしい。届け出がないのは安真木地区の1行政区だけですが、当該地区の地元説明会を実施し、「今後届け出の方向で調整中」との解答でした。

●川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例継続審査することに決定しました。

●給食センターの運営状況調査
 期日 21年4月2日
 結果 現年度分の給食代納付率はこのところ97%台で、70/80件分が未納となって滞納繰越しされ、その金額は1月末で340件、総額1200万円となっています。滞納している世帯の内、生活保護、純保護世帯が40件と割合が高く、給食代も保護費に算入されていることから、県福祉と連携して納付督促面で更に工夫するよう要請しました。

●学校での児童生徒の携帯電話使用状況と携帯式防犯ブザーの現状調査
 期日 21年4月23日
 結果 当委員会調査の通知を受けて、この4月に初めて町内4小学校、3中学校での一斉アンケート調査が実施されました。

●健康づくり先進施策に関する調査
 期日 21年5月14日
 結果 筑紫野市健康福祉課に出向き、同市保健センター「カミリーヤ」において施策の概要を聴取し、健康づくりプランなどに対し見聞を深めることができました。



建設産業常任委員会

- 委員長 見月 勳
- 副委員長 小田 勝彌
- 奈木野康徳
- 繁永 英樹
- 有田 浩一
- 奥 春男

筑紫野市保健センター「カミリーヤ」にて

●現地調査を実施
 5月1日、池尻駅周辺整備工事、食肉加工施設(清川産業)、鳥廻小規模住宅地区改良事業の3ヶ所

●池尻駅では、完成した駅舎は壁がなく非常に開放的で、旧駅舎の古くて暗いイメージは一掃され、駅周辺においても、周りの木を伐採したため、外部からの見通しも良くなり、また駅舎周辺に小公園及び花壇も設置されていることから、今まで非行の温床となっていた駅周辺を、今後は地域の交流の場として活用していこうという意図を感じ取ることができました。

●委員会としては、トイレの増築が必要なる理由は理解できるが、事業費が1200万円程度かかるのは高すぎる、食品を扱う会社であるので、衛生面の設備については、配慮しなければならぬと思うもユニット式のトイレなどの採用も

●池尻駅落成式
 池尻駅落成式の様子が写っています。



池尻駅落成式